

| | | | | | |
|----------|-----------|-----|---------|-----|---|
| 授業科目名・形態 | 公衆衛生看護管理論 | 講義 | 必修・選択の別 | 選択 | |
| 担当者氏名 | 太田敦子 | 開講期 | 4年前期 | 単位数 | 1 |

【授業の主題】

様々な地域集団の特性に応じた健康課題解決のための保健活動は、健康水準を高めることを目的に展開する公衆衛生看護管理機能そのものである。具体的には事例管理・地区管理をはじめ、情報管理、事業管理、予算管理、組織管理、人材育成、健康危機管理等のそれぞれの管理機能を学ぶことにより、すべての保健師に管理能力が必要であることを理解し、それを其々が十分に発揮することで公衆衛生看護活動の質が高まり、人々の健康を保障することにつながることをめざす。

【到達目標】

1. 健康水準を高める公衆衛生看護管理の特徴を理解できる。
2. 具体的な公衆衛生看護管理機能（事例管理、地区管理、情報管理、事業管理、予算管理、組織管理、人材育成、健康危機管理等）を理解できる。
3. 保健師に管理能力が必要なことを理解し、人々の健康を保障する能力を養うことができる。

【授業計画・内容】

| | | |
|-----|---------------|-----------------|
| 第1回 | 「公衆衛生看護管理の特徴」 | 1. 公衆衛生看護管理の理念 |
| 第2回 | 〃 | 2. 公衆衛生看護管理の基本 |
| 第3回 | 「公衆衛生看護管理の実際」 | 1. 事例管理・地区管理 |
| 第4回 | 〃 | 2. 情報管理 |
| 第5回 | 〃 | 3. 事業・業務管理、予算管理 |
| 第6回 | 〃 | 4. 組織運営と管理 |
| 第7回 | 〃 | 5. 人事管理・人材育成 |
| 第8回 | 〃 | 6. 健康危機管理 |

【授業実施方法】

講義

【授業準備】

教科書を読んで講義に臨み、講義後は学習内容を復習する。

【主な関連する科目】

「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」、「公衆衛生看護活動展開論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」等の公衆衛生看護学の科目

【教科書等】

最新保健学講座5、公衆衛生看護管理論、メヂカルフレンド社、2016.

【参考文献】

随時 紹介

【成績評価方法】

筆記試験 100%

【学生へのメッセージ】

公衆衛生看護管理論は、「管理」は、いわゆる管理者だけが行うものではなく、新任保健師から管理期の保健師まですべての保健師に求められる能力であることをお話しします。保健師一人一人が十分にその機能を発揮できるよう講義では具体的な「事例」等も用いながら進めていきます。その際事例を基にしたグループワークを随時行います。